

平成20年 9月 第270号

大代地区コミュニティー推進協議会
(編集部)
事務局：大代地区公民館
☎364-8442

ふれあい

〈掲載目次〉

- 大代の伝統行事「流灯花火大会」・・・1
- 生まれて始めて席を譲られて・・・2
- 物置を整理して(その二)・・・2
- グラウンドゴルフ大会に
参加しませんか・・・2
- 今年のキャンプは・・・3
- 大代の歩み(六)・・・3
- ふれあい短歌・・・4
- ふれあい川柳・・・4
- ふれあい俳句・・・4

大代の伝統行事

「流灯花火大会」

大代流灯花火大会実行委員長

大代西区長 伊藤 要

今年は七月に梅雨明けの発表がありました。その後曇天の日が続き梅雨明けしたような空模様でなく、「立秋」の八月七日に強い日差しが照りつけ最高気温三三・六度の真夏日を記録しましたが、その後は平年並みの気温となりました。

今年も大代の伝統行事である「ご供養慰霊祭と流灯花火大会」も例年どおり、八月二十日に開催することができました。

この行事は、大代地区の皆さんもご存知のとおり、貞山運河掘削の難工事(一六二二年〜一六五八年)と、当時の大代橋(現在橋本橋)の重大事故(明治三三年八月一四日(旧暦二十日盆)の夜、灯籠流しを見物しようとして二百名以上の人が橋の中央付近に集まった為、橋板と欄干が折れて七十人余りが貞山堀に落ち十人が溺死した)で犠牲になられた人達を供養するために行なわれていると伝えられております。

現在では、大代地区の夏祭りとして住民の間にすっかり定着して、大勢の方々が参加する祭りとなりました。

これからも大代地区の夏の行事として、また大代の伝統行事として、後世に継承

られる事業の一つであります。今年は、快晴に恵まれてまして行事は予定どおり行なうことができました。

例年どおり十八時に開会セレモニー、十八時三十分からご供養慰霊の行事を行ない、僧侶の読経が始まると会場には多くの方々にお焼香に参列して頂きました。慰霊祭の後、暁流一二三会社中の皆様の艶やかな和服姿の踊りが披露されて、この行事に一段と花を添えていただきました。



貞山運河に灯籠の灯りが川面に映りご先祖様のご供養が厳かに行なわれて、棧橋から花火が打ち上げられると人出も多くなり、夏の夜空に咲いた鮮やかな大輪に歓声が上がリ納涼花火大会も最高潮に達した頃、

今年には更にスケールの大きいナイヤガラ花火を演出いたしました。花火は大代

の夜空を彩り、運河に映る光の花に行く夏を惜しむように・・・。

今年の夏まつりも晝流一二三会社中の皆さん、大代地区子ども会育成連合会、消防団第6分団、交通指導隊、のり業者の皆さん等々多くの方々にご協力をいただきながら盛会裏に無事終了することができました。

これもひとえに多くの方々のご協力とご支援の賜と心から感謝いたし衷心より厚くお礼申し上げます。

生まれて始めて

席を譲られて

大代東 佐藤 松雄

五月十八日仙台の「青葉祭り」を見に行こうと我が愛妻と二人で十時過ぎ家を出た。仙石線多賀城駅から仙台行き電車に乗った。車内は「青葉祭り」を見に行く人で満員であった。ところが車内に入ると直ぐ目の前に掛けておった二十代前半のアベックに「どうぞお座り下さい」と席を勧められたのである。自分としては白髪は認めるが腰はまだ伸びており、席を譲られる程の老人とは思いたくなかったのであるが、若者の好意に感謝し掛けさせて貰った。ところが二人の会話は韓国語である。

韓国の若者であったのだ。

その数日前、同じ仙石線で向かいの席に座った若い女性、座ると直ぐ化粧を始めたのである。それも短いスカートで足をくみ見苦しく我慢が出来ず私の方で席をかえた。化粧は仙台まで続いたようだ。これが今の若者かとガツカリしていたとこだった。

電車から降りる際アベックさんにお礼を言ったら「祭りを大いに楽しんでください」と返された。祭りの踊も山車も豪華なものであったがそれ以上に「生まれて始めて席を譲られたことが」これから先ずつと私の心に残った日となる事でしょう。

私現在七十三歳

物置を整理して(その二)

大代中 本郷 敏郎

先月は終戦直前の新聞のことを紹介しましたが、今回は終戦後一ヶ月目の九月十三日・十四日の新聞と、大戦前の昭和八年十二月二十日の新聞を紹介します。

終戦後の新聞は、国内の動揺、再建、軍の責任、又米軍の日本本土の動きなどが書かれています。又復員のこと、

国内で米兵と戯れる子どもたちなど、今後すべての人たちと復興に前進しようなどという記事が、多く見受けられます。

次ぎに昭和八年の新聞を見ますと、それ程戦争の記事は見られず、「塩釜の水揚げが四百萬円以上」、「豊漁と大型船増加で」、とか、「野菜は高いが魚類は下がる」など、暮らしにつながる記事が多いようです。又驚いたことに紙面の大きさは戦時中より二倍の大きさで、全面広告も有ることでした。

今回は多賀城に関する記事を投稿したいと思います。

グラウンドゴルフ大会に

参加しませんか

コミュニティ体育部

大代地区コミュニティ推進協議会主催によるグラウンドゴルフ大会を十月十二日(日) 東部緑地公園にて開催します。

地区内の多数の参加願っております。

期 日 十月十二日(日)

場 所 東部緑地公園

(あずまや付近)

時 間 九時集合 九時三十分試合

参加費 三百円

申込期日 十月五日(日) 締切

申込先 大代地区公民館まで会費共

今年のキャンプは

大代地区子ども会育成連合会

小幡 順一

七月十九日・二十日と七ヶ浜キャンプ場において、夏休みキャンプ体験学習を実施しました。初日は、朝から暑く子ども達は汗だくになりながら八月の流灯花火大会で使用する、灯籠の絵描きゲーム、テント設営など、様々なことを共同で行い、夜は、花火大会、プール遊びなど目一杯楽しんだにもかかわらず、夜更けまで動き周り、さらに翌日、朝早くから起きだし大人がバテバテでした。

一泊二日とはいえ、普段では味わえない、学年別の集団行動や自然の中で過ごす時間等、夏のいい思い出になったことと思います。

来年また実施するさいは、是非、参加してください。

最後に、キャンプ中、お手伝いいただいた御父兄の皆様とエステパンの皆様、ありがとうございました。

大代の歩み(六)

大代南 渡邊 巖

時代は少し遡るが、伊達氏が仙台城に入る慶長五(一六〇〇)年以降、大代村に在郷屋敷を持って居住するか、或いは知行地の一部を所有していた家臣は次のとおりであるが時期的な差があつて、すべてが同時期に在住したものではない。

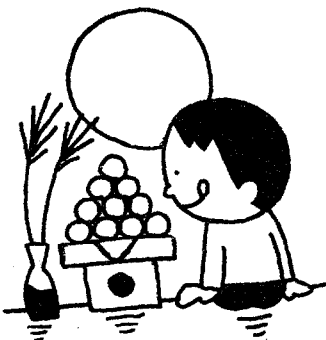
齋藤氏 祖は某与惣右衛門であるが、子がなく、同じ大代村の橋本氏二代目重殷の弟を寛永一九(一六四二)年に養嗣子とした。

その養嗣子が齋藤家二代目の齋藤重弘であつたことから、同氏が代村に在郷屋敷を賜つたのは元和年間(一六一五)以前と思われる。譜系は祖の齋藤某与惣右衛門から、九代目の齋藤弘勝までの間に二度、橋本氏から養嗣子を迎える等して二一五年程続いた。祿高は三二三石(寛永二〇(一六四三)年)に始まり、二代目重弘の時(延宝五(一六七七)年)には最高の五四九石余りを賜っている。

橋本氏 橋本氏は、伊達政宗の夫人愛

姫(めぐひめ)の実家である田村氏の一族で、祖先は馬場重親。その子の重殷が愛姫から橋本姓を授けられ、慶安四(一六五一)年に祿高三〇〇石、承応元(一六五二)年、宮城郡大代村に在郷屋敷一軒、家中屋敷二〇軒を賜つたが、その後新田開発によつて更に祿高を増やし、万治三(一六六〇)年には八〇三石を賜つた。家中屋敷はその後、大代村の知行となる笹原仁平次へ二軒(元禄二(一六八九)年)、岩淵勘之助へ二軒(享保二(一七二七)年)へ譲り一六軒となつた。譜系は二代目の重殷から橋本姓となり、一〇代目某(八郎右衛門)まで約三二〇年続いた。(今の代五丁目には以前は大代字橋本の字名で、橋本氏屋敷が由来という)

続く



ふれあい短歌

大代西 藤田 遊子

玉音の 放送ありて 六十年

世界に誇る 核なき倭国

青々と 宇宙に一つ 水の星

永遠に残さむ 人類の為

親が子を 子が親あやむ 今世紀

憶良の思ひ 今を哀しむ

ふれあい川柳

大代西 藤田 遊子

試食して買はで

立ち去るさくらんぼ

モナリザのような

タレントピエラ売る

拉致されて手足の出せぬだるま国

偽の字がいまだはびこる神の国

詐欺電話の親の顔はどんな顔

国民の怒り爆発誤年金



ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

山畠で小分け賜わり豆の飯

谷間より雲湧き出ずる梅雨晴間

梅雨の蝶つかず離れず野を低く

甚兵衛を着てから余生らしくなり

くわで食み子供の頃をなつかしむ

誘蛾燈網の虫採集ぬ子を抱き

鷺草の白を極めて翔んとす

踊り花咲いて山形笠踊り

亡き妻の姿もゆれる盆踊り

木蔭よりぬうーと顔出す鹿の角

笠神西 本郷 勝子

信濃路や村のかたすみ桔梗咲く

葉の裏に雨宿りして蝸牛

夏霧やアルプス連峰つつみけり

サングラスかけ登るは白馬山

熱狂と喝采の夏甲子園

去年咲き今年咲かない百日紅

白萩のこぼるる花や通りやんせ

回り道忘き友の庭萩すすき

里人に分けてやりたき石清水

濟々と雨を彩る木槿かな

笠神西 吉野 珠子

哀しみも心におさめ夏のはじめ

人寄ると早媚つくる金魚かな

山寺や苔のびのびと人まいる

賑わしくすいれん祭の舟進む

くもり空とまらぬ樂し梅をつむ

魂祭り灯台ともすあたたかし

(三浦半島)

御仏は更けゆく踊り見守られ

日のさせば灼けつく様な凌霄花

母偲ぶ昔のままの真桑瓜

立秋や一筆書いて蓮の露

●ベキンオリンピックに因み俳句

大代西 藤田 遊子

CGも一役かひし天高し

陽を見ずに

「みずき」の花は散りにけり

夏燕男子体操「銀」躍る

二大会二種目制覇「金」の鮎

早乙女の一本勝ちの「金」の夏